

研究課題名	個人における体温を調べるパイロットスタディ
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学附属健診施設 MedCity21 が中心になっておこなう研究です。本研究により、健診受診者のデータにより健常人の体温の分布をあきらかにすることを目的としています。また、平常時の体温を健診データとリンクさせることにより、それぞれの個人の体温が持つ意味や、平常時の体温と健診で診断される病気が関連していないかを明らかにすることを目的としています。本研究のデータは、平常時の体温が持つ意味を明らかにするための研究を今後進めるうえでの基礎的なデータになると考えています。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2025年3月末日までにMedCity21で健診を受診した受診者が対象になります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 1 検診受診時の観察記録および、その際の状況についての診療録、看護記録(体温情報、患者酸素飽和度、血圧、検査時間診情報) 2 患者基本情報:年齢、性別、現病名、問診調査(現病歴、既往歴、家族歴、内服歴、喫煙歴、運動習慣、食事習慣、睡眠習慣) 3 血液検査結果:健診・人間ドック一般血液検査結果(血算、肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、電解質、尿酸、腫瘍マーカー、ホルモン検査、アディポカイン、炎症マーカー、尿検査所見) 4 生理学的検査:身長、体重、BMI、体組成、心電図、呼吸機能検査、認知機能 5 画像検査結果:腹部エコー検査、腹部 CT(内臓・皮下脂肪面積)、胸部 CT 検査、上部消化管内視鏡および造影検査、マンモグラフィー、乳腺エコー検査、頭部 MRI/MRA 検査 6 機能検査結果:動脈硬化検査(超音波法による頸動脈内膜中膜複合体肥厚(IMT), 脈波伝播速度(PWV), 内皮依存性血管拡張反応(FMD)), 骨代謝関連検査(DEXA 法による腰椎・大腿骨骨密度)、Fibroscan 装置による定量的肝内脂肪蓄積度(CAP 値)
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学附属健診施設 MedCity21 で行いますが、得られた結果については論文化予定です。また、共同研究先である株式会社ユーズテックに集計、統計処理後の結果を、特定の個人を識別できない形で提供することがあります。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学附属健診施設 MedCity21 と株式会社ユーズテックとの共同研究です。 ●研究機関 大阪公立大学 本研究における役割: 情報の取得・提供、解析 【研究責任者】 所属: 大阪公立大学 医学部 先端予防医療学 氏名: 灘谷 祐二 【研究分担者】 所属: 大阪公立大学 医学部 先端予防医療学 氏名: 渡邊 俊雄
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 研究責任者: 灘谷 祐二
本研究の	本研究は、株式会社ユーズテックより研究資金の提供を受けた共同研究です。

利益相反	
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 研究責任者：灘谷 祐二 電話番号：06-6624-4010 メールアドレス：dada@omu.ac.jp